

平成31年2月

平成30年	10月 ~	12月期	実績
平成31年	1月 ~	3月期	見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

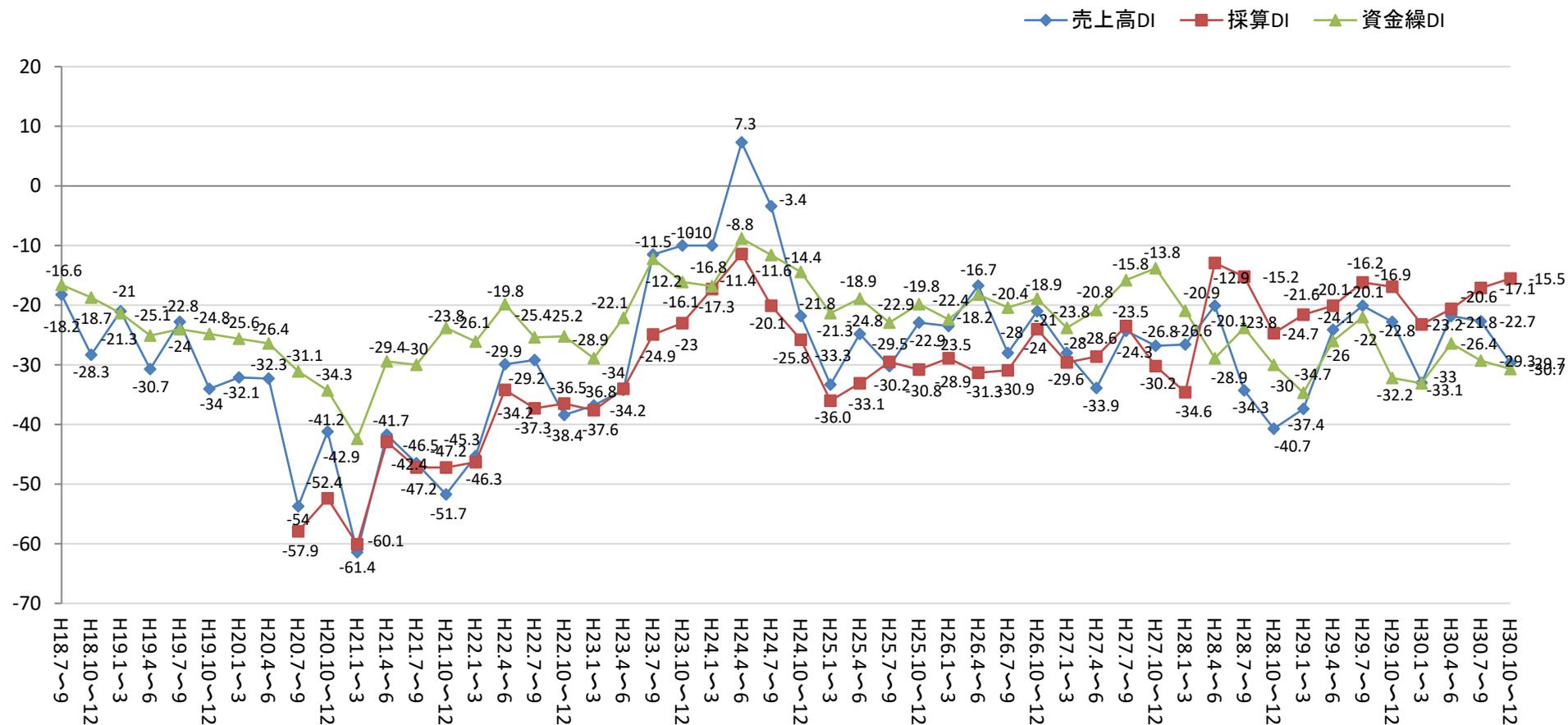
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[ 岩手県 産業全体 ]

### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

# 業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成29年				平成30年				(見通し) 平成31年 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 薄曇	 曇	 薄曇	 曇	 曇	 曇
建 設 業	 晴	 曇	 薄曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 雨	 雨
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇	 曇	 曇	 曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

# 全産業の推移

## 売上高

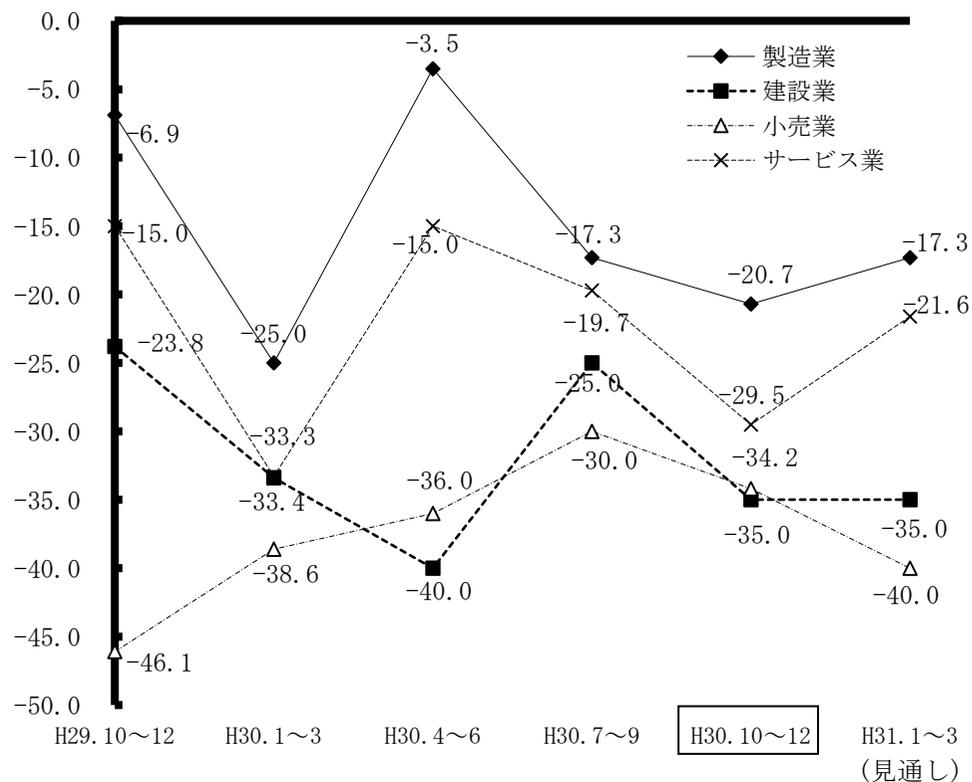
### 製造業、サービス業が2期連続の低下 小売業が4期ぶりの低下

今期は、すべての業種で低下しました。特に、建設業が10.0ポイント低下し、△35.0まで悪化しました。また、サービス業も9.8ポイント低下して2期連続となり△29.5となっています。小売業は3.4ポイントの小幅な低下にとどまっています。

来期は、今期大幅に悪化したサービス業が回復すると予想されます。

小売業が2期連続で低下し、製造業は小幅に上昇すると予想されます。

また、低下した建設業は、横ばいと見込まれています。



※建設業の売上高は完成工事高

# 全産業の推移

## 採算

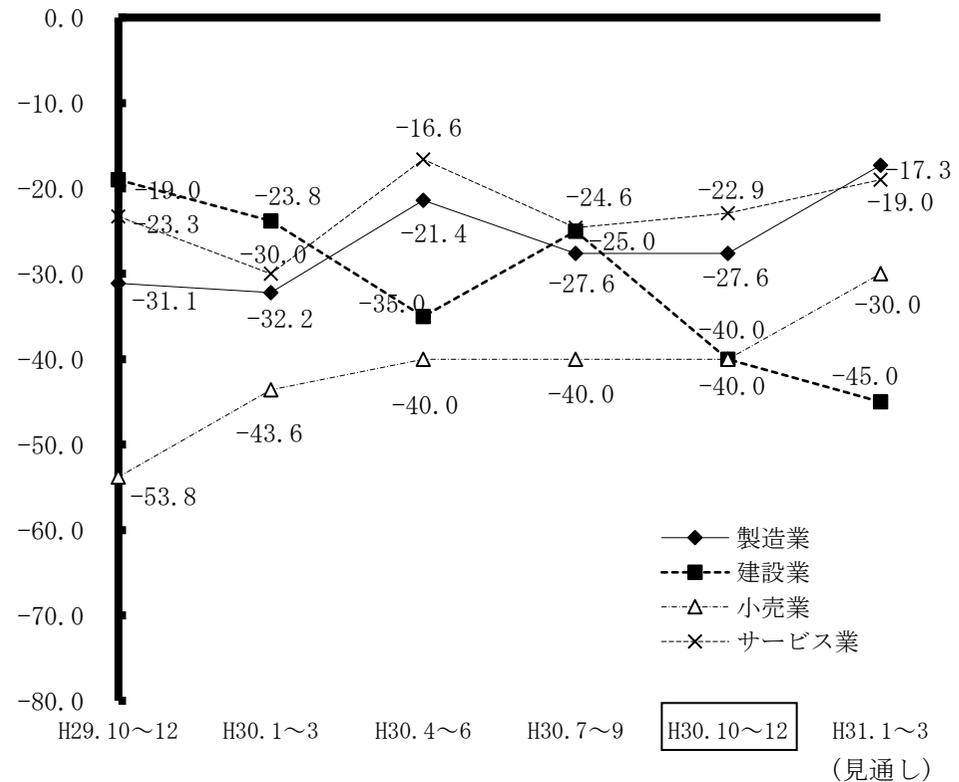
**製造業、小売業が横ばい**  
**サービス業が好転、建設業が悪化**

今期は、サービス業が1.7ポイントの小幅な増加となり△22.9まで上昇し、製造業、小売業は横ばいとなりました。

建設業は15.0ポイントの大幅な低下となり、△40.0まで悪化しています。

来期は、製造業、小売業、サービス業においては、改善することが予想されます。

また、建設業においては2期連続の悪化と見込まれます。



※採算は各業種とも経常利益

# 全産業の推移

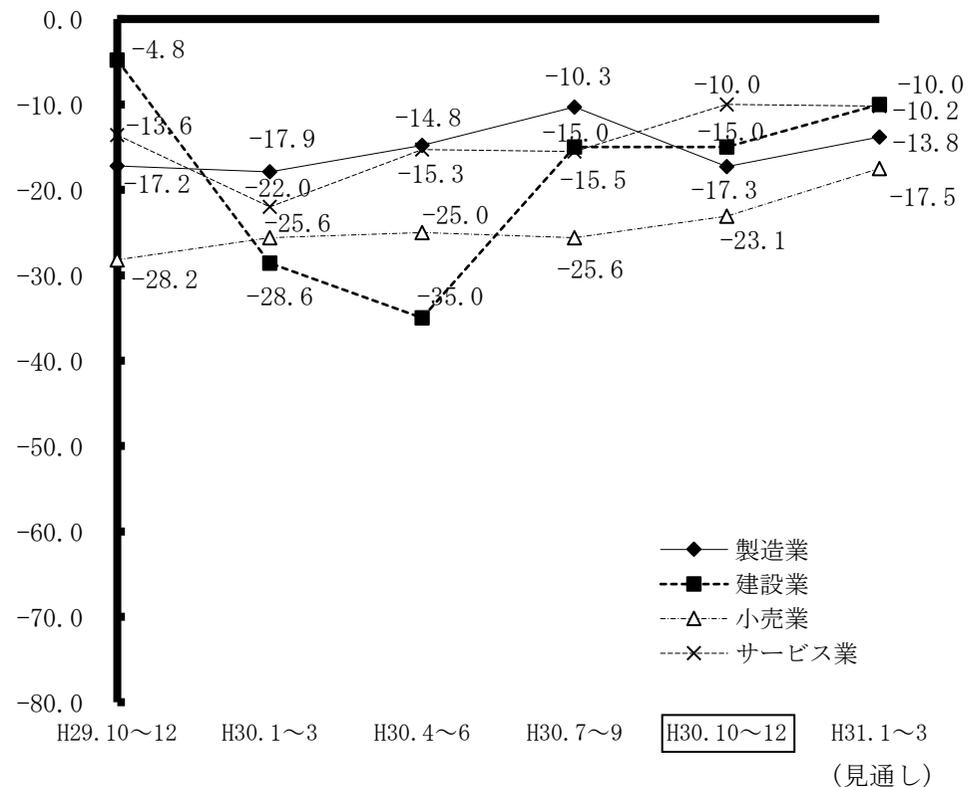
## 資金繰り

**小売業、サービス業が小幅に改善  
製造業が悪化**

今期は、サービス業が5.5ポイント上昇して△10.0、小売業が2.5ポイント上昇して△23.1となり、この2業種において資金繰りが改善しています。

製造業においては、7.0ポイントの低下となり、2期ぶりに低下して△17.3まで悪化しています。

来期は、製造業、建設業、小売業において小幅な改善が見込まれ、また、サービス業においては悪化の見通しとなっています。



# 製造業の推移

## 売上高

<今 期>

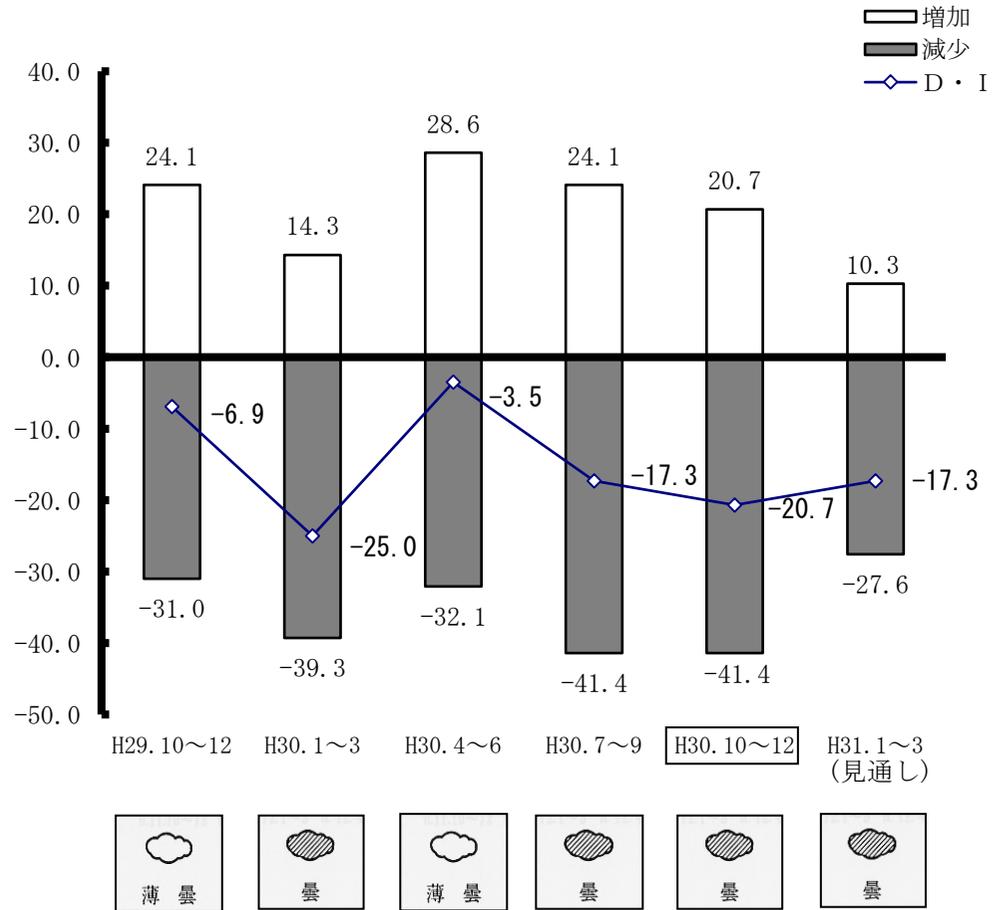


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の減少と、売上高減少企業の横ばいにより、売上高D・Iは3.4ポイントの小幅な減少となり、△20.7まで悪化しました。業況天気図も曇のままと変化はなかったです。

来期は、売上高の減少を予想する企業割合が減少するものの、売上高の増加を予想する企業割合も減少が見込まれ、売上高D・Iは好転に転じる見通しです。



# 製造業の推移

## 採算

<今 期>



曇

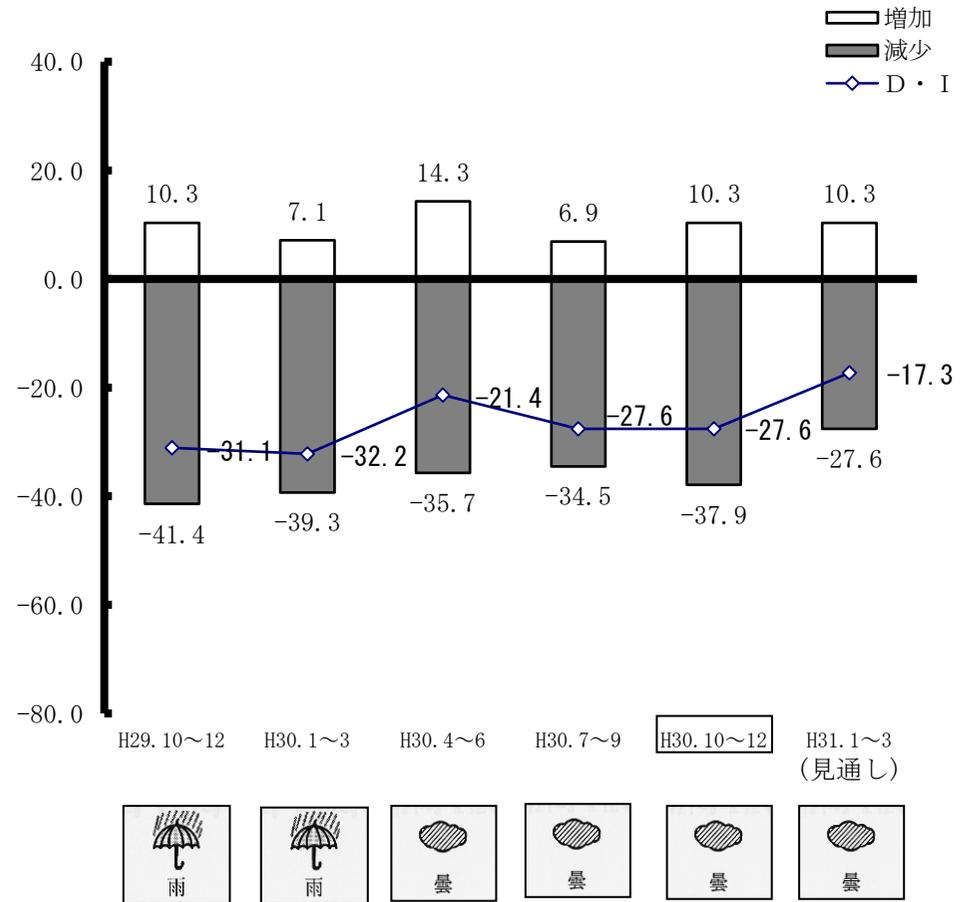
<来期見通し>



曇

今期は、採算が改善した企業の割合が3.4ポイント増加し、採算が悪化した企業の割合も3.4ポイント増加したことから、採算D・Iは変わらず△27.6となりました。

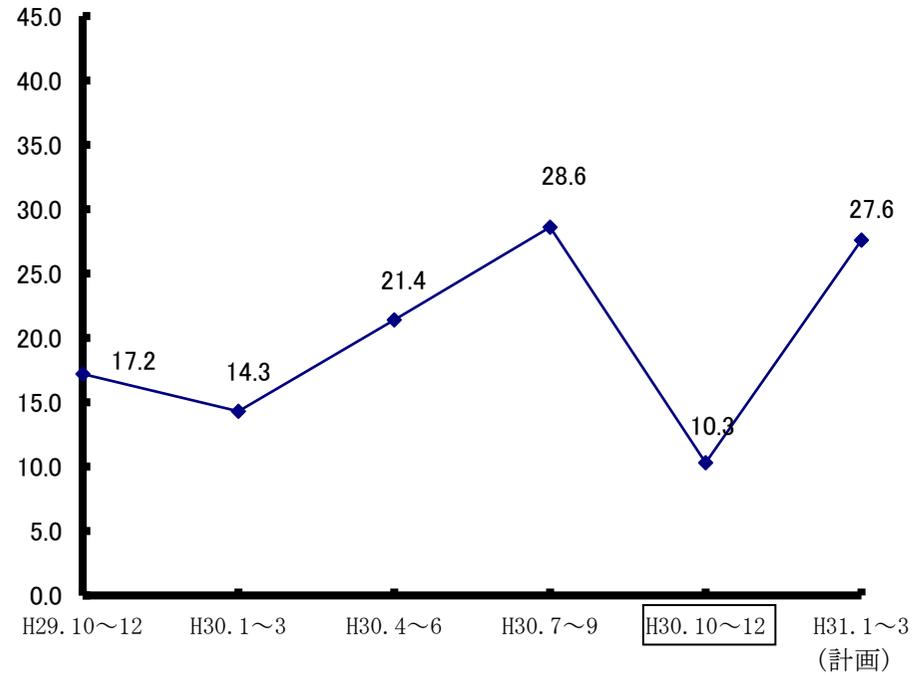
来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業は、変わらずにとどまるものの、採算の悪化を予想する企業割合が大幅に減少すると見込まれることから、採算D・Iは好転する見通しです。



## 設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は減少に転じ、10.3まで悪化しました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は、増加となる見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

## 経営上の問題点

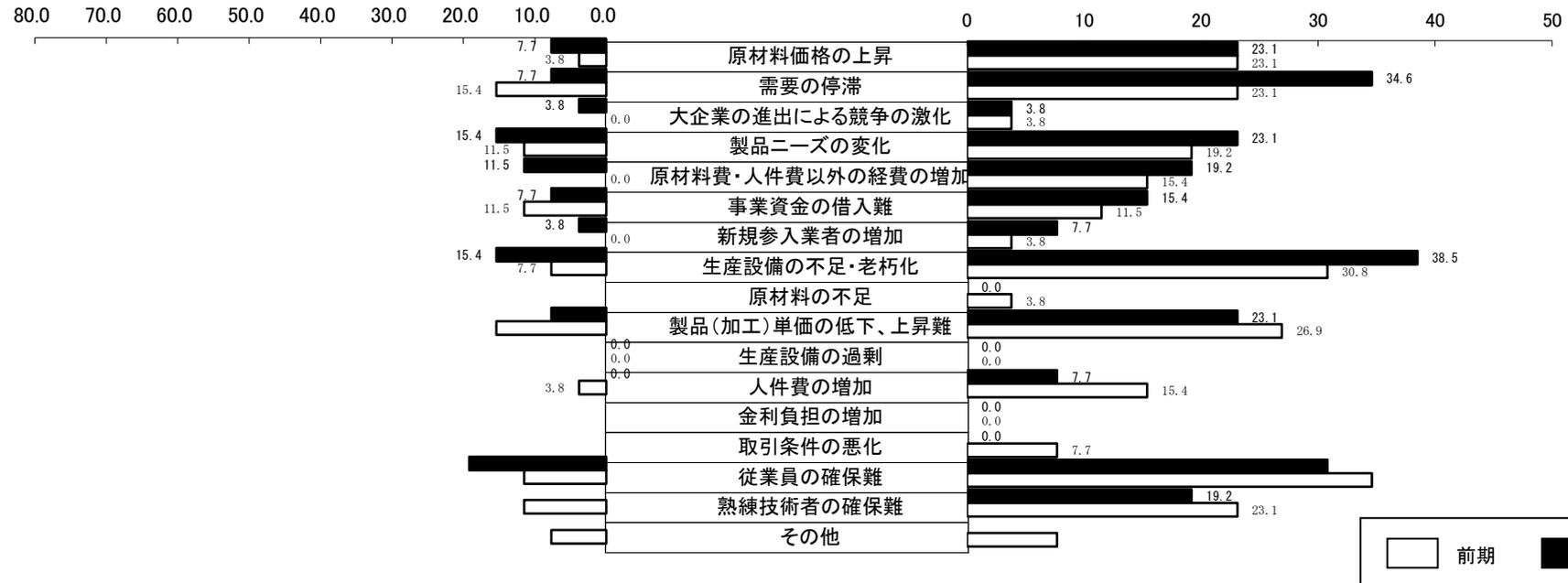
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>

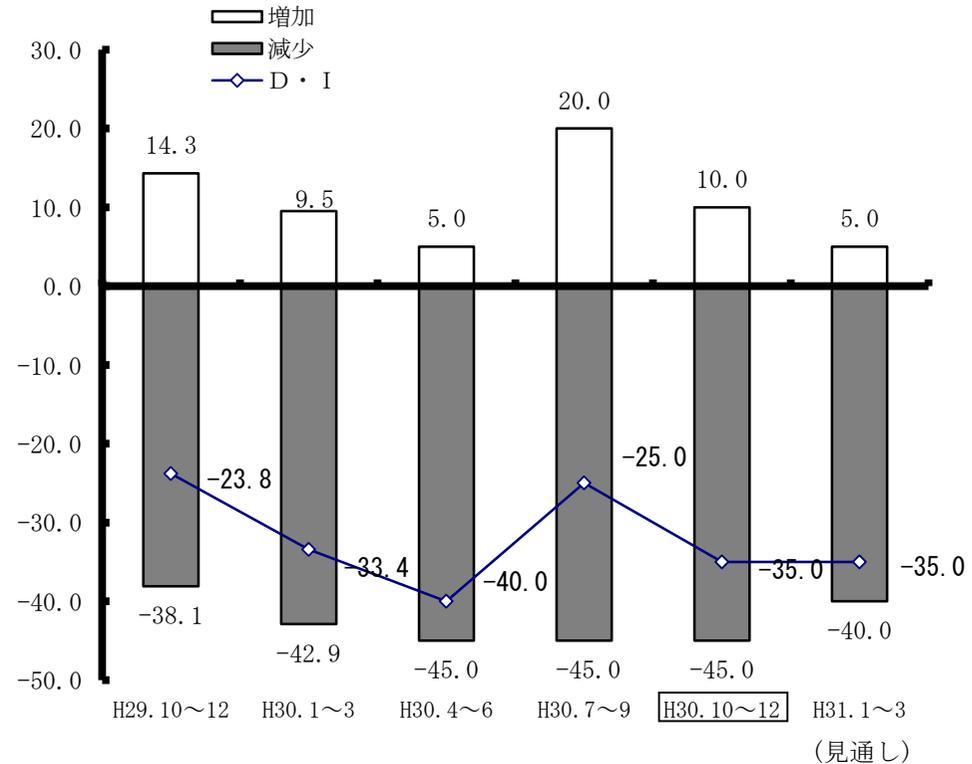


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業割合が減少し、売上高が減少した企業割合が横ばいであったことから、売上高 D・I は低下となってマイナス幅が拡大し、△35.0まで低下しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少し、売上高の減少を予想する企業の割合も減少すると見込まれることから、売上高 D・I は横ばいのままの見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

# 建設業の推移

## 採算

<今 期>

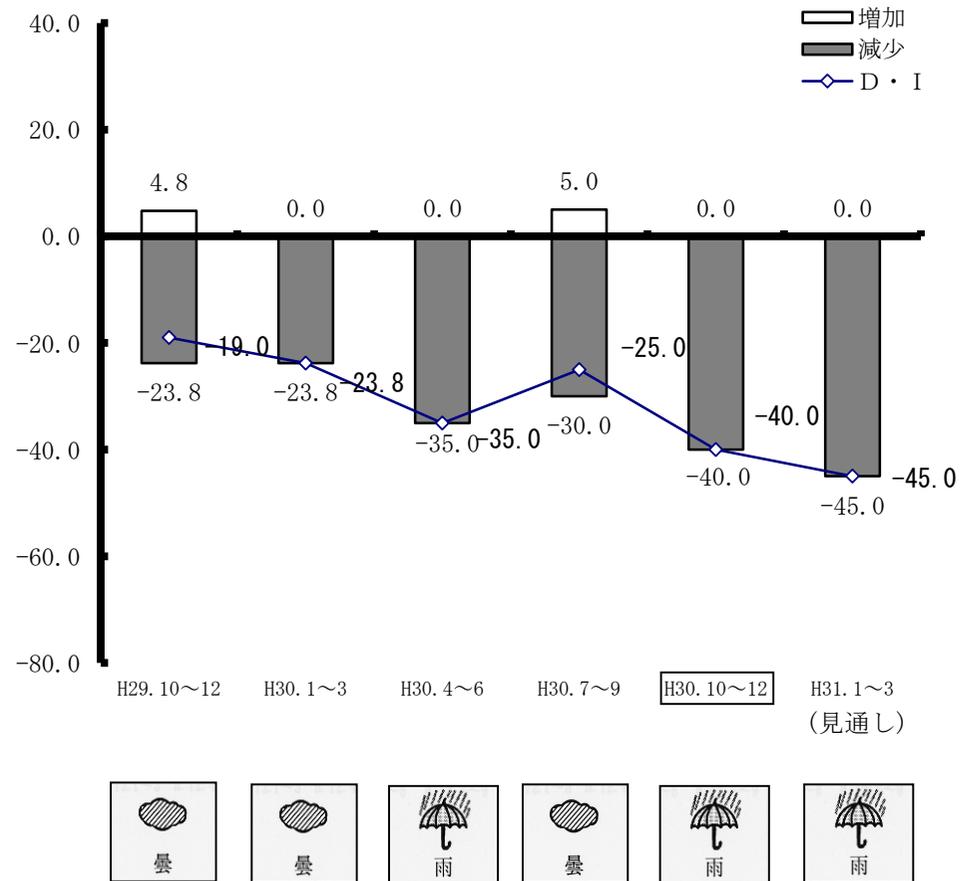


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業の割合が0.0に減少、採算が悪化した企業の割合が15.0ポイント増加したため、採算D・Iは10.0ポイント低下し、△40.0まで悪化しました。業況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期は、採算の改善を予想する企業割合が変わらず、採算の悪化を予想する企業が増加となることから、採算D・Iは悪化する見通しです。



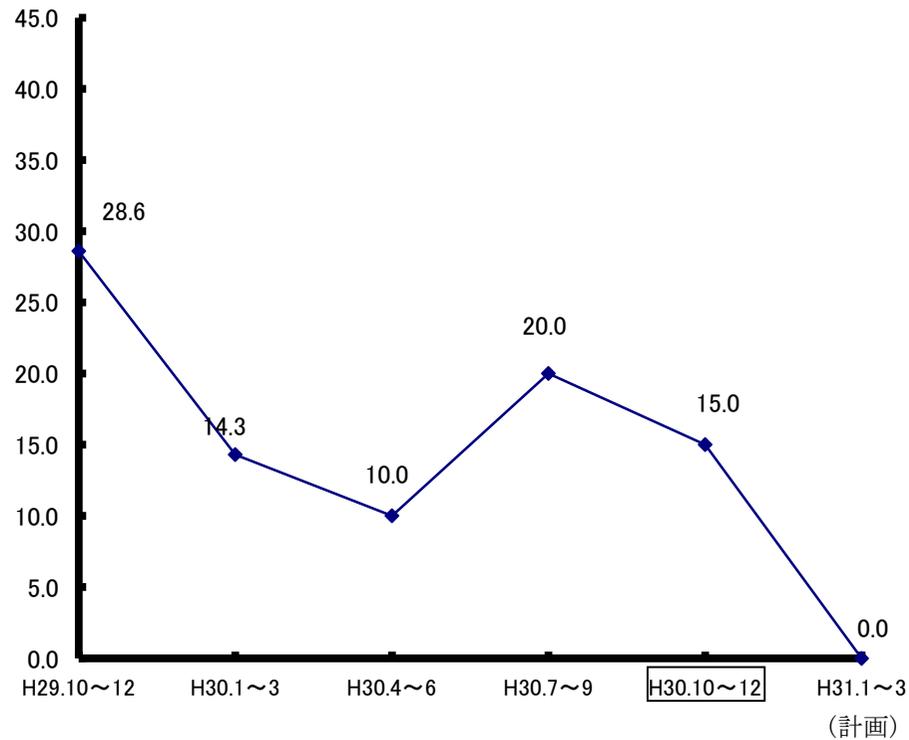
# 建設業の推移

## 設備投資

今期、建設業において設備投資を実施した企業数の割合は15.0まで低下し、減少となりました。

来期も、設備投資を予定する企業数の割合は引き続き増加することが見込まれ、0.0まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

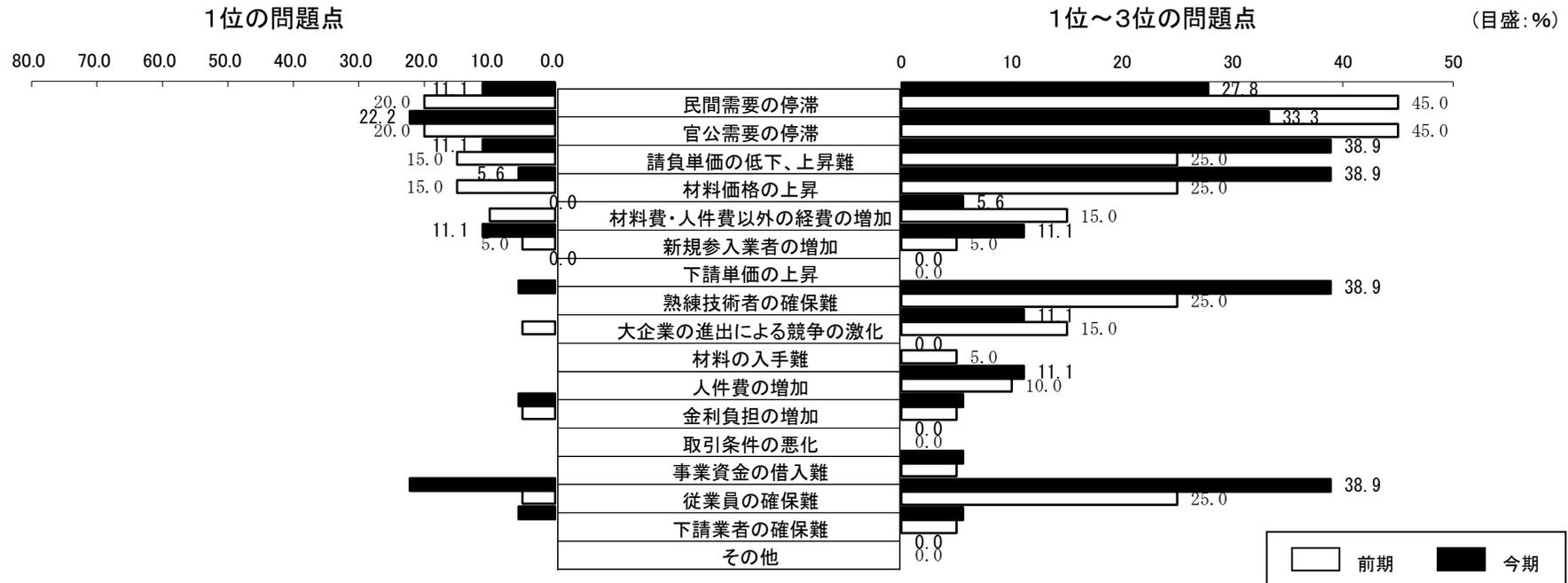


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小売業の推移

## 売上高

<今 期>

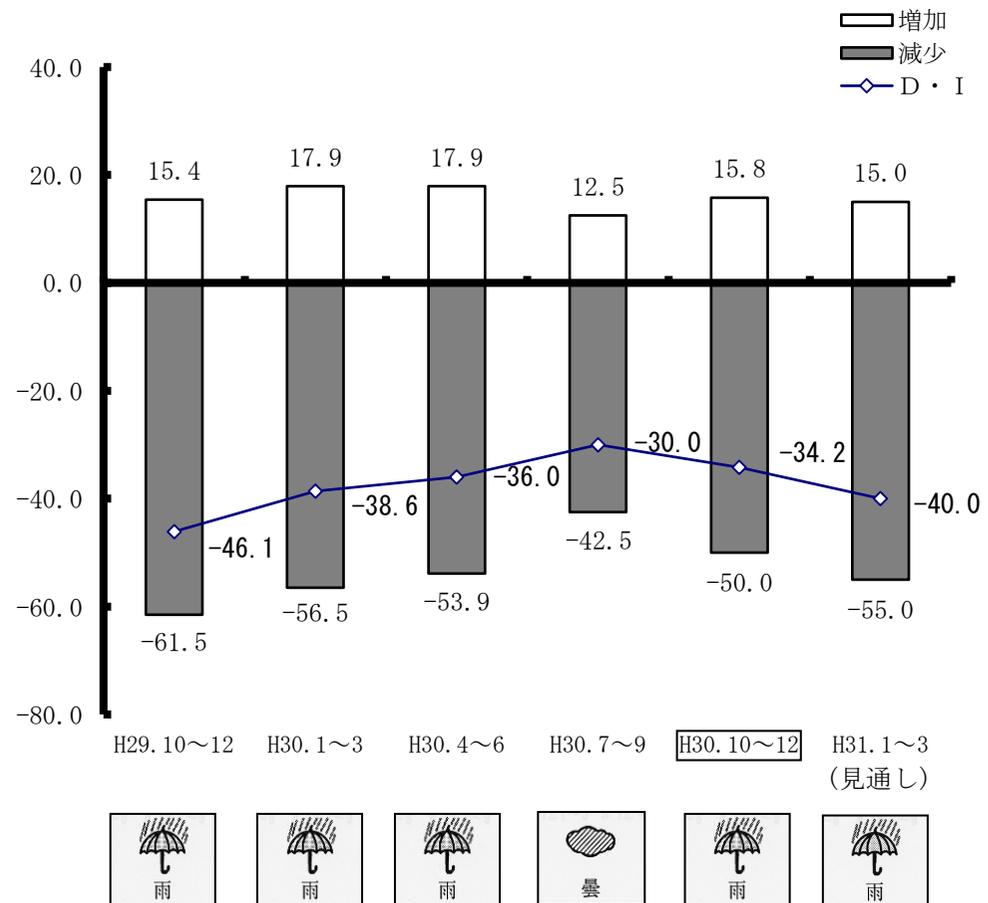


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合は増加となったものの、売上高減少企業の割合も増加したことにより、売上高D・Iは4.2ポイント減少し、△34.2となりました。

来期は、売上高減少を予想する企業の割合は増加が見込まれます。売上高増加を予想する企業割合も減少するため、売上高D・Iは僅かに低下する見通しです。



# 小売業の推移

## 採算

<今 期>

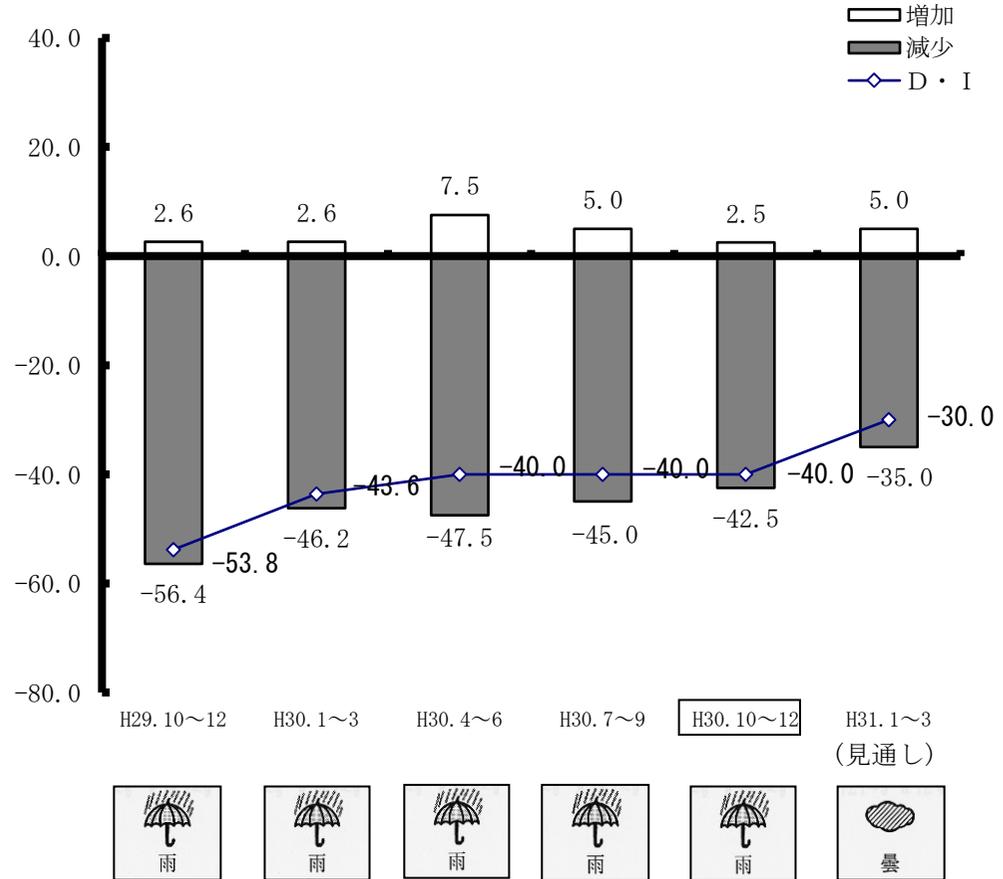


<来期見通し>



今期は、採算が減少し、採算が悪化した企業の割合も減少したため、採算D・Iは横ばいになりました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合は5・0となり、採算の悪化を予想する企業割合も減少するため、マイナス幅が改善し、採算D・Iは△30.0まで好転する見通しです。業況天気図も雨から曇へと変化しています。

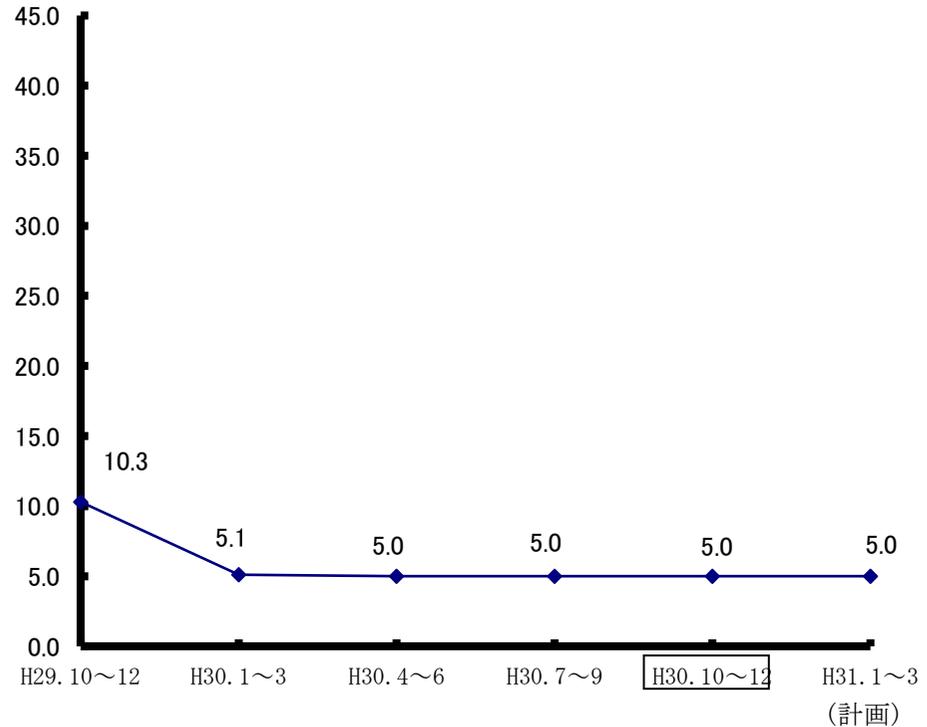


## 設 備 投 資

今期、設備投資を実施した企業数の割合は、前期と横ばいの5.0にとどまり、3期連続の変わりませんでした。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は5.0のままと変わらないと見込まれます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

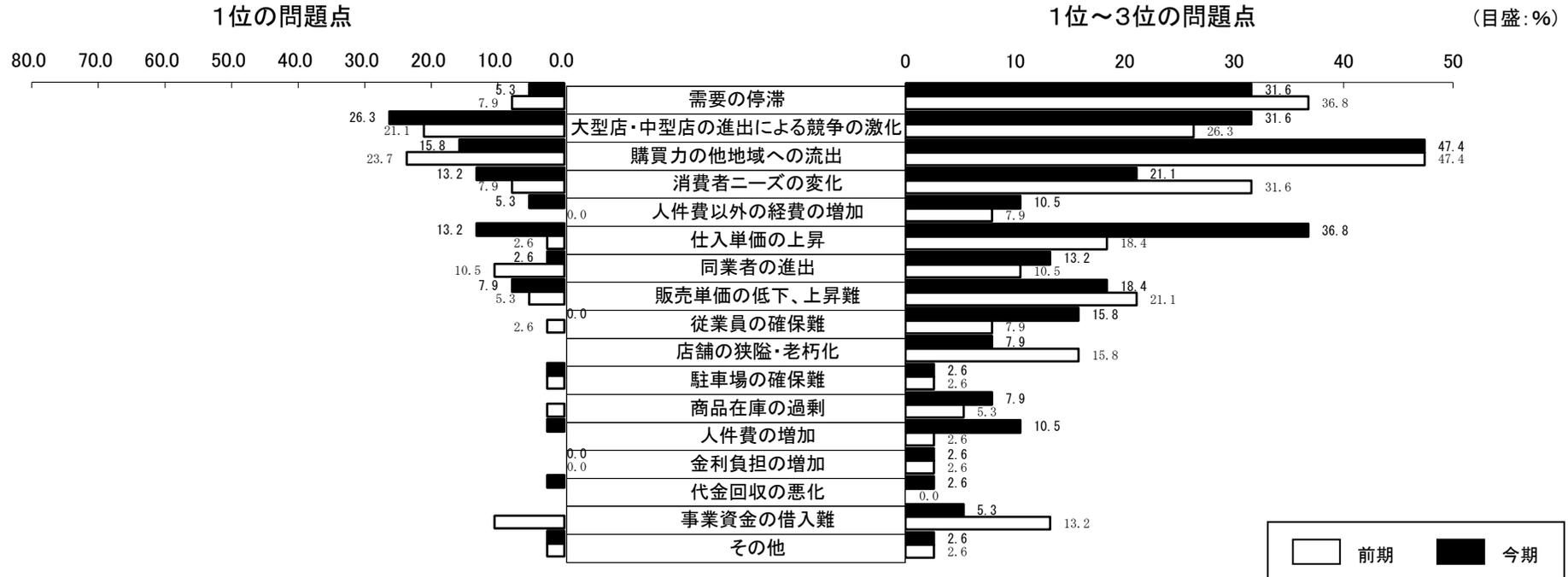


# 小売業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# サービス業の推移

## 売上高

<今 期>

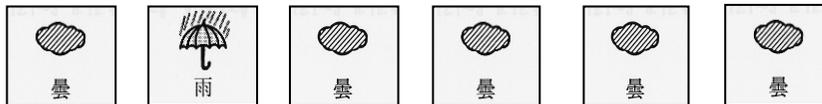
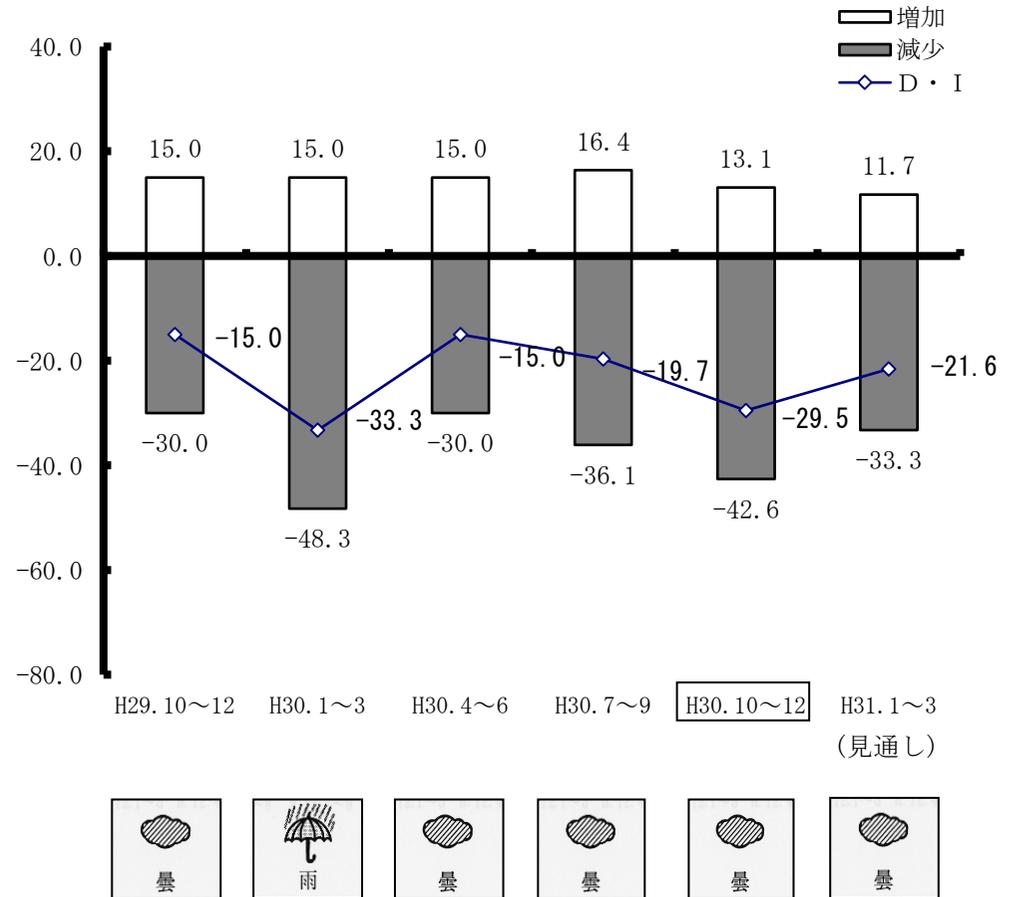


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合は前期と減少し、売上高減少企業の割合が6・5ポイントの増加となったため、売上高D・Iは9・8ポイント減少し、△29・5まで悪化しました。

来期は、売上高減少を予想する企業の割合は減少するものの、売上高増加を予想する企業の割合も減少することが見込まれることから、売上高D・Iは減少に転じ、△21・6に回復する見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>

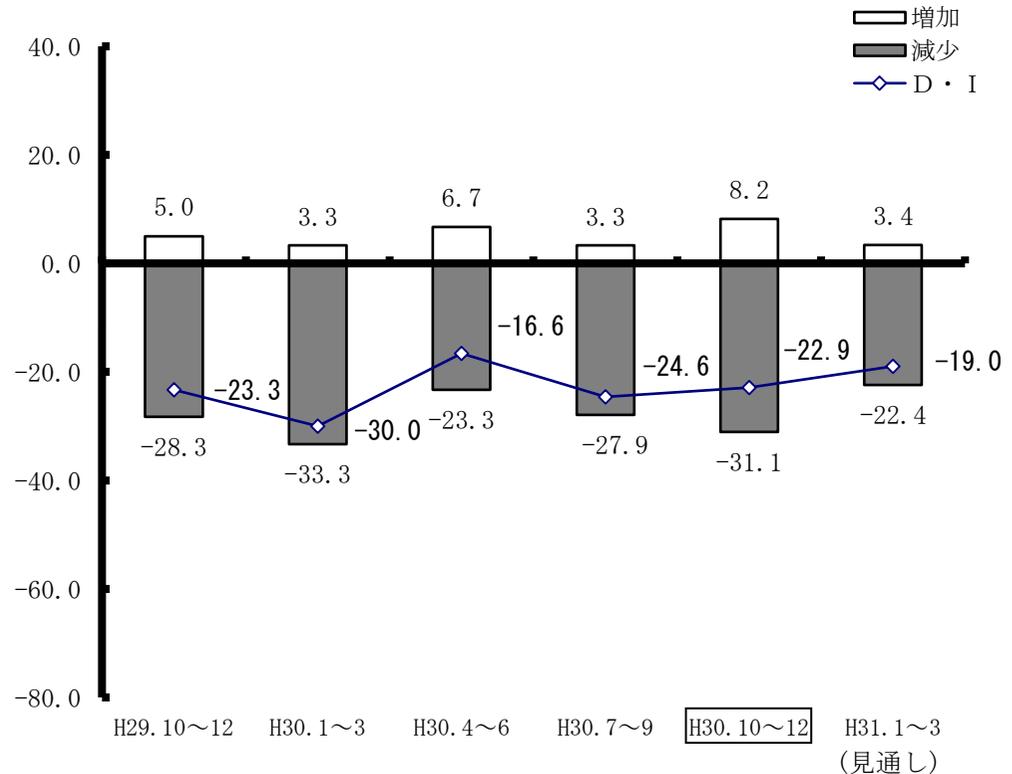


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が4.9ポイント増加し、採算が悪化した企業割合も3.2ポイント増加したことから、採算D・Iは1.7ポイント上昇して△22.9まで小幅に改善しました。

来期は、採算の改善を予想する企業割合が減少し、採算の悪化を予想する企業割合も減少する見込みで、採算D・Iは△19.0まで改善し、マイナス幅が縮小する見通しです。

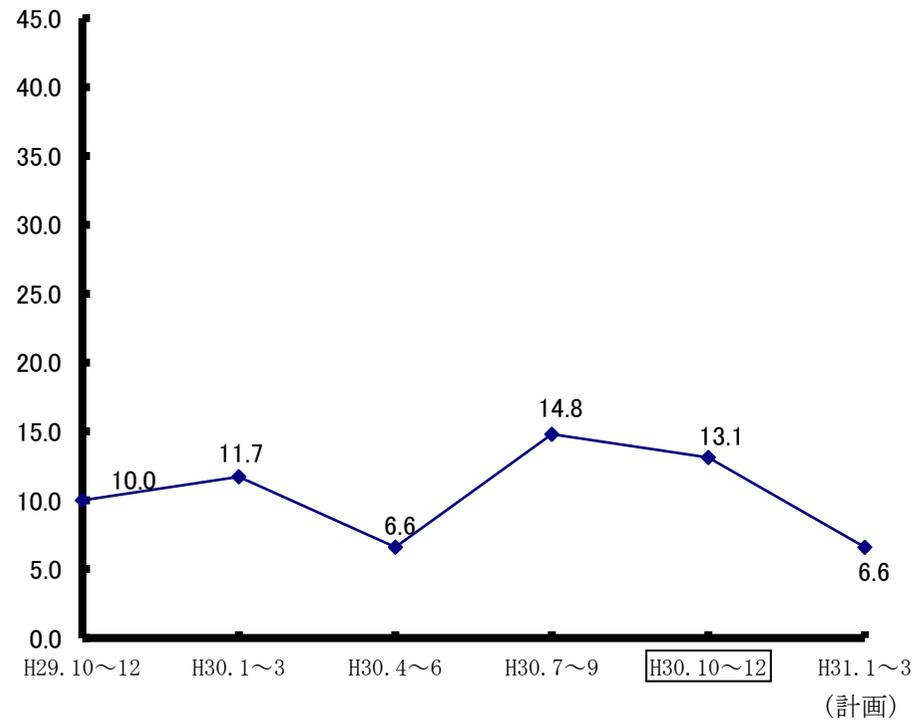


## 設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は減少し、13.1まで低下しました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は引き続き減少することが予想され、6.6まで減少する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

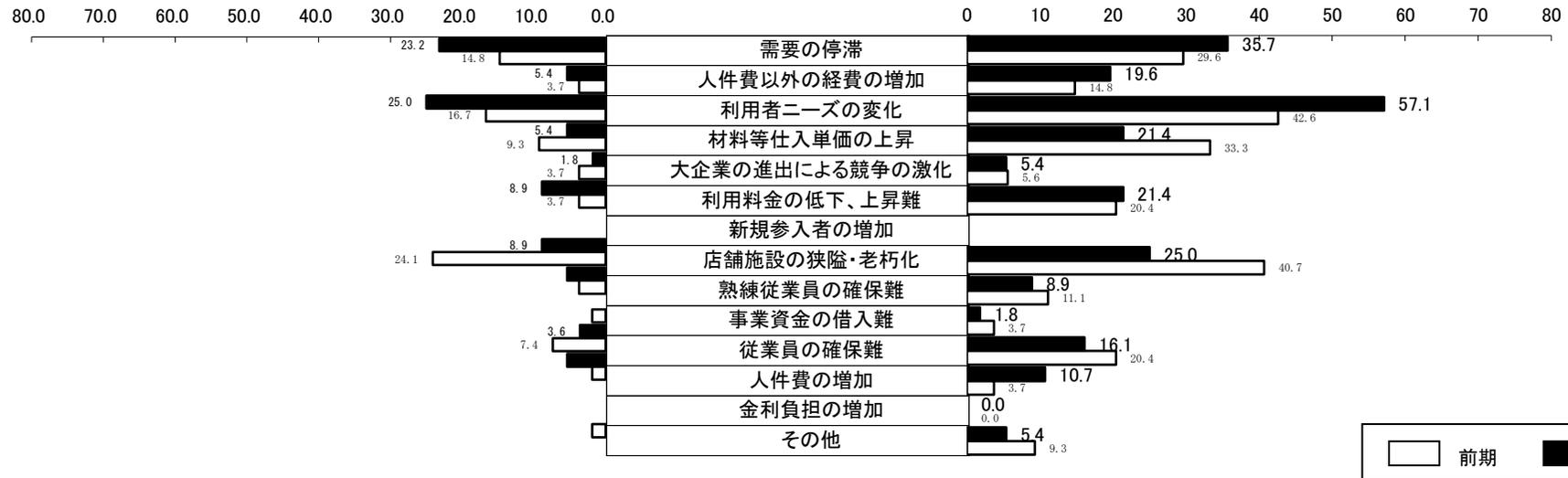
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

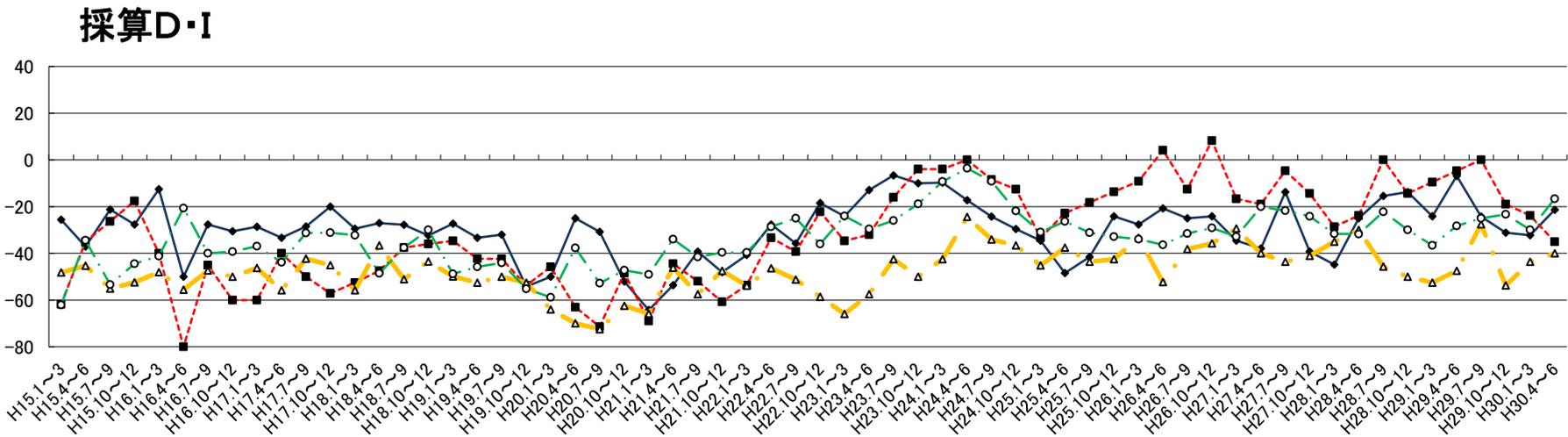
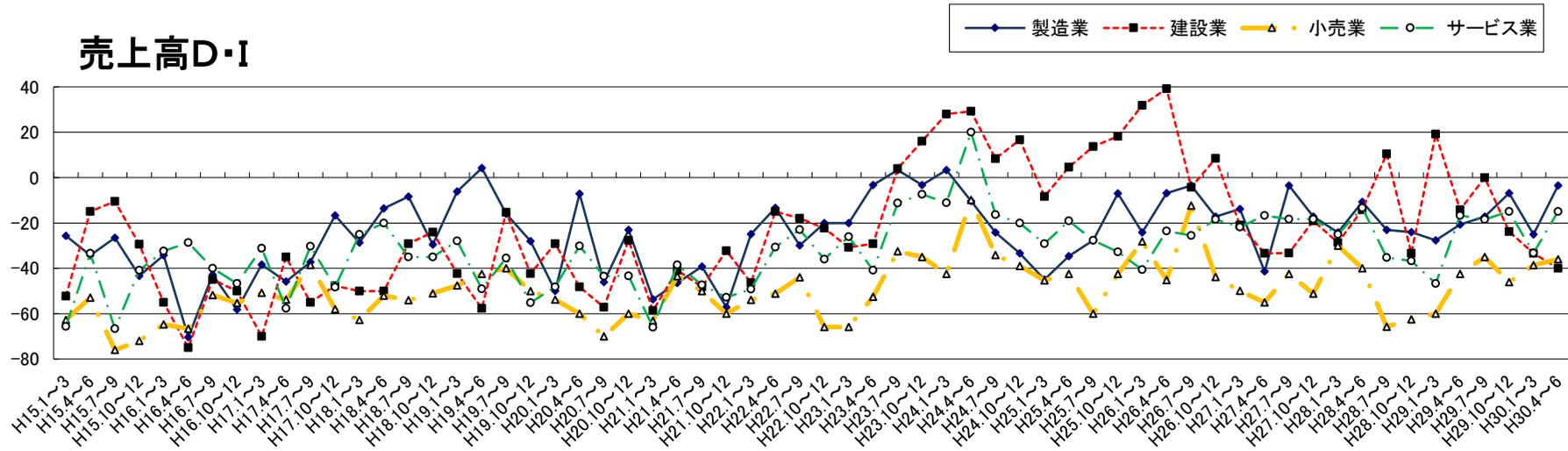
1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



# 集 計 資 料

# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、二戸市、雫石、岩手町、紫波町  
(商工会名) 前沢、金ヶ崎町、田野畑村、普代、九戸村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成30年9月～12月を対象とし、調査時点は平成30年11月15日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)		29 ( 19.3 )	29 ( 19.3 )	100.0
建 設 業		20 ( 13.3 )	20 ( 13.3 )	100.0
小 売 業		40 ( 26.7 )	40 ( 26.7 )	100.0
サ ー ビ ス 業		61 ( 40.7 )	61 ( 40.7 )	100.0
		150 ( 100.0 )	150 ( 100.0 )	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。